

政策研究センター リサーチ・プロジェクト 成果報告書

提出日: 2021/2/26

申請者(リーダー): 氏名 日比野 直彦 職名 教授

リサーチ・プロジェクト名:

(和文) 発展途上国における公共交通指向型開発に関する計画および法制度の国際比較分析

(英文) International Comparative Analysis of Transit Oriented Development (TOD) Related Planning and Legal Systems in Japan and Developing Countries

期間(yyyy/mm/dd): 2019/8/1 から 2021/3/31 2年間

共同研究者: 氏名 職名 所属機関・部局名 (備考)

共同研究者1 紺屋 健一 元教授 GRIPS

共同研究者2

共同研究者3

共同研究者4

共同研究者5

リサーチ・プロジェクトの目的

本研究は、公共交通指向型開発(Transit Oriented Development (TOD))の発展途上国への適用を念頭に置き、各国のTODに関連する鉄道・都市計画および法制度等に着目し、国際比較分析を行うものである。発展途上国の多くの大都市では、激しい交通渋滞が発生しており、その解決策の一つとして鉄道整備およびTODが期待されている。しかしながら、不適切な適用による失敗事例も少なくなく、発展途上国における都市の持続的な発展を実現し、そしてSDGsの実現を可能にするためには、詳細な国際比較分析を踏まえた適切なスキームづくりが重要である。各国における官庁組織構造、法律、解決すべき問題とその原因等が一律ではないため、本研究では、それらの共通点、相違点を明確にし、TOD適用に向けた各国の課題を明らかにする。

研究成果の概要(800字程度) ※新型コロナウイルスの影響により、予定どおりの実施が難しかった場合にはその理由:

研究計画では、昨年度に調査に行くことができなかったベトナム、中国等の分析対象国に行き、現地調査、関係者へのインタビュー調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、海外出張が困難となったことから、国内において得られる情報を用いて国際比較分析を行うことに変更した。

海外出張をせずに、分析対象国のできるだけ新しく正確な情報を入手するために、分析対象国にスタッフがいるコンサルタントに研究補助として加わっていただき、現在分析を進めている。また、その他にも紺屋、日比野のこれまでの人的ネットワークを活用し、各国の研究者に共同執筆者になっていただき、現地の情報をできるだけ集め、ディスカッションペーパーを作成している。

以上のように、新型コロナウイルス感染症の拡大により、研究計画の変更を余儀なくされたが、研究方法を修正し、必要な情報は収集できている。また、本年度は国際会議、セミナーにも参加することができず、活動は限定的になっているが、来年度半ばには本年度の成果をまとめたディスカッションペーパーを出す予定である。

研究成果:

[別紙\(\(成果報告書\(研究成果一覧\)\)に記入](#)

その他、研究成果として特記すべき事項:

※政策研究センターのリサーチ・アシスタント(RA)雇用に採択されたプロジェクトについては、RAの具体的な仕事内容を記載してください。また、RAを雇用したことによって得られた研究成果(例:RA氏名が記載された①論文発表、学会発表など。予定も含む。)があれば必ず記載してください。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

成果報告書(研究成果一覧)

研究成果一覧:

(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)

(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。))等掲載)

※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。

※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

著者	<sup>0</sup> 件 標題	雑誌名 /所収図書 <sup>0</sup> の編者・図書 名・出版者等	巻・号 /章・節	<sup>0</sup> 件 発行年	開始 ペー ジ	終了 ペー ジ	<sup>0</sup> 査読 (有=1)	<sup>0</sup> 国際共 著 (yes=1)	DOI	<sup>0</sup> オープン アクセス (yes=1)
1										
2										
3										
4										
5										

図書:

※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

著者・編者	<sup>0</sup> 件 図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1				
2				
3				
4				
5				

口頭報告・学会発表等:

※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。

※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

報告者等	<sup>0</sup> 件 論題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1				
2				
3				
4				
5				